

[1] 中学部教育に対する基本的な考え方と教育課程の編成及びコミュニケーションの力を育む取り組み

中学部の教育目標は従前より、「友だちといっしょに生活できる子」としてきたが、この目標の中にすでに、周囲との関わり、すなわち「コミュニケーション」の重視をかがげてきたのである。

また、小学部で教師の援助を受けながら、遊びを通して培った自立化の力を、教師や友だちとの関わりの中で、思春期を迎えた生徒たちの周囲への関心の拡がりに依拠して、一層楽しく活動させきることで、社会化、表現化の力を育もうと考えて目標を設定してきた。

このことは、青年期に入って社会参加を直前にしている高等部の生活へとつなげ、逞しく生き抜いていける子を発展的に見通し、志向した姿でもある。

右図 I は、本校が開発した段階別教育内容表の各項目毎に中学部21名の生徒の到達点を平均化してトータルに示したものである。

勿論、我々は取り組みにあたって生徒個々の課題に即して、個別のプログラムを設定してきたことは言うまでもないが、ここには、本校中学部の全体的な教育的課題が提起されている。

我々は、このグラフに示された総ての項目が学習の結果、現状より大きく広がり、「生きて働く力」として定着することをめざしている。そして、これらの視点で中学部の教育課程が編成される必要があると考える。しかも、社会化や表現化に重点を移し、人格形成の上でも周囲との関わりが大切な時期を迎えている中学部の生徒にとって、本校の研究テーマとなった「コミュニケーションの力」を育てるということは格好の教育課題でもある。

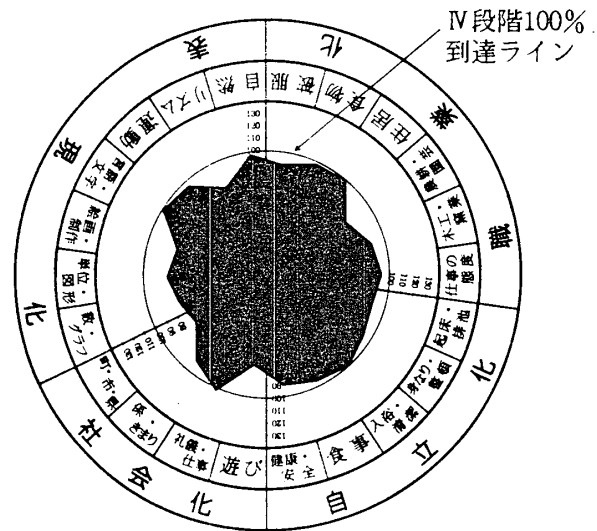


図1 段階別教育内容表IV段階到達度
(中学部平均)

[1] 中学部の教育課程編成上の特徴と留意点

教育課程全般を規定する週時表は、次ページの〔表1〕の通りであるが、従前の研究テーマ「からだづくり」の時以来、大きな変更もなく今日に至っている。

ただ、研究課題が「コミュニケーション」に視点があてられたことから、言語表現機能の中心となる「ことば」・「かず」等の認知的な学習の場となる「課題別学習」の時間での取り組みが重視され生徒も、この学習に期待感をもち意欲的に取り組んでいる。しかし、このことは、我々がコミュニケーションの技能の向上にのみ腐心しているものではない。なぜなら、コミュニケーションの力が育つには、「話していて楽しい」とか、「自分の思いが聞いてもらえる」などの周囲の雰囲気とか環境や内面の充実といったものが保障されているかどうかに関わっているからである。

中学部の教育課程は、意欲の発生、具体操作、生活活用、集団活動の中での個別化等の指導の原則から考えて、生活単元学習や作業学習を中核として編成されている。

なお、今年度、特に留意したのは、指導内容の上で、大単元間の課題の継続性と発展を重視したことである。これは、コミュニケーションの力の育ちは繰り返しの指導と、場を変え多様な対象とのやりとりの中で培われると考えたことによる。

[2] 本校中学部の生徒に求められている「コミュニケーションの力」と取り組みの目標

思春期を迎えた中学部の生徒は、今まで積み上げてきた生活経験の中で身体づくりをしながら、同時に心の豊かさへの欲求を募らせてきた。それは、自分の思いを人に語り、あるいは、人の思いに耳をかたむける中で、自己発現・自己確立を図ろうとする極めて人格形成の重要な時期にきていることを示している。しかし、発達の遅れに起因して、①語いが少なかったり、言葉遣いを知らなかったりするため、相手に自分の気持ちを上手に伝えられない。②言語が不明瞭である。③言われたことの意味を理解することが難しく、確かに聞き取ったり表現したりする力が弱く、文章の構成力にも乏しい。等々の課題をかかえている。

これらの点は、単に「発達の遅れ」というにとどまらず、生活経験の不足などが原因となっている。

とはいえ、生徒たちは、全員が表出言語を持ち、思春期の身体の変化・成熟に伴う、大人らしい気持ちや表現も見られはじめています。

こうした課題と実態をふまえて、相手に伝えたい、人と関わりたいという思いを語る力（表現する力）、また、相手の語りかける言葉や思いを正しく受けとめる力（理解する力）という、コミュニケーションの基礎的な力の育成を楽しい活動や環境の中で育てていきたいと思う。

本校の生徒は、健常児のような多様なコミュニケーションの対象や場を持たない。それだけに、青年期を迎える前のこの生徒たちに、思いのたけを語り合い、将来に対しての夢や抱負を語ることができる力を身につけさせ、社会参加に向けての期待や自信を高めてやりたい。

この「表現力」・「理解力」を「生きて働く力」とすることは、思春期に発芽するともいわれる「自己抑制力」「自己教育力」を高めることにもつながると考える。こうした大きな目標に向かって、当面、「楽しんで、豊かに人とかかわる子」の育成を期していきたい。

表1 中学部週時表

曜日	月	火	水	木	金	土
9:05	登校・朝の生活					
9:45	学級活動	合同体育	リズム	サーキット	合同体育	サーキット
10:30	朝の活動 (身体表現、歌、合奏、日記発表、健康観察)					
10:45	長休憩(自由遊び)					
11:30	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	合同音楽
12:10	給食準備・給食・給食片付け					着替え 掃りの活動
12:45	洗面・自由遊び					
13:10	掃除	掃除				
13:30	作業学習 (農園)	クラブ	課題別学習	作業学習 (軽作業)	課題別学習	下校
14:10		委員会	着替え 掃りの活動		課題別学習	
14:30			下校			
14:55	着替え		着替え			
15:10	掃りの活動		掃りの活動			
15:30	下校		下校			